

# 1. はじめに

株式会社  は、

「新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す」  
「世界とともに生きる」

という2つの経営理念のもと、8つの行動憲章に則り活動しています。

とりわけ環境問題への取組みが企業の存在・活動に必須の条件であることを認識し、環境保全に配慮するとともに、環境負荷が少なくリサイクルしやすい製品の開発・提供に努め、省資源や省エネルギー、産業廃棄物や二酸化炭素発生量の削減に積極的に取り組んでおります。

当社明石工場は、1966年（昭和41年）に関西の食品製造拠点として、兵庫県加古郡稲美町に設立し、マーガリン・ショートニングの製造を開始しました。その後、1980年（昭和55年）にパイ用マーガリン<オリンピックシリーズ>、1984年（昭和59年）には高粘度クリーム製品、1997年（平成9年）には、小入れ目製品への展開を進め、多品種少量生産等、時代のニーズに適応した食品提供工場へと進化を続けています。

工場運営の基盤として、「4つの安全～安心」を掲げ、企業の社会的責任(CSR)を全うでき、みなさまに信頼頂ける工場運営を心掛けております。

<4つの安全>

- ①労働安全：OHSAS18001の運用により、災害ゼロの職場環境の確立を図る。
- ②品質安全：HACCP運用から更にISO22000にレベルアップする事により、食品安全の維持・向上を図る。
- ③設備安全：設備保全活動を強化し、事故ゼロ・故障ゼロを目指す。
- ④環境安全：環境ISO14001の運用により、環境保全の維持・向上を図る。

本報告書は、2007年度の当社明石工場のCSRの取り組みと成果をまとめたものです。

工場の運営目標として、労働安全：「労働災害ゼロ」、食品安全：「クレームゼロ」、設備安全：「故障・事故ゼロ」、環境安全：「公害・苦情ゼロ」「産業廃棄物の対前年1%削減」「使用エネルギーの対前年1%削減」等を掲げて取り組みました。一部には満足できなかった部分もありましたが、総じて相応の結果を収める事ができました。残した課題は、次年度も継続して精力的に課題解決致します。また2007年度は特に、食品安全マネジメントプログラムであるISO22000システムの整備・導入を実現し、より一層、安全・安心な食品を提供できる環境が整えられました。

明石工場は今後も「4つの安全～安心」を柱とした工場運営を心がけ、兵庫県の環境方針に述べられた「共生と循環の環境適合型社会」や、稲美町の謳う「郷土いなみ野の美しい自然と伝統を受けつぎ、さらに、時代の進展に応じ、お互いが協力して希望に満ちた住みよい町をつくる」という町民憲章に則った、地域密着型の食品工場として社会に貢献致します。

当工場の諸活動をご理解頂くとともに、皆様からのご意見・ご指導を頂き、より良い工場を目指して今後も努力致します。

2008年11月

株式会社  明石工場

工場長 遠藤 周